

世界経済見通し: リスクと今後の課題



石井詳悟
IMFアジア太平洋地域事務所

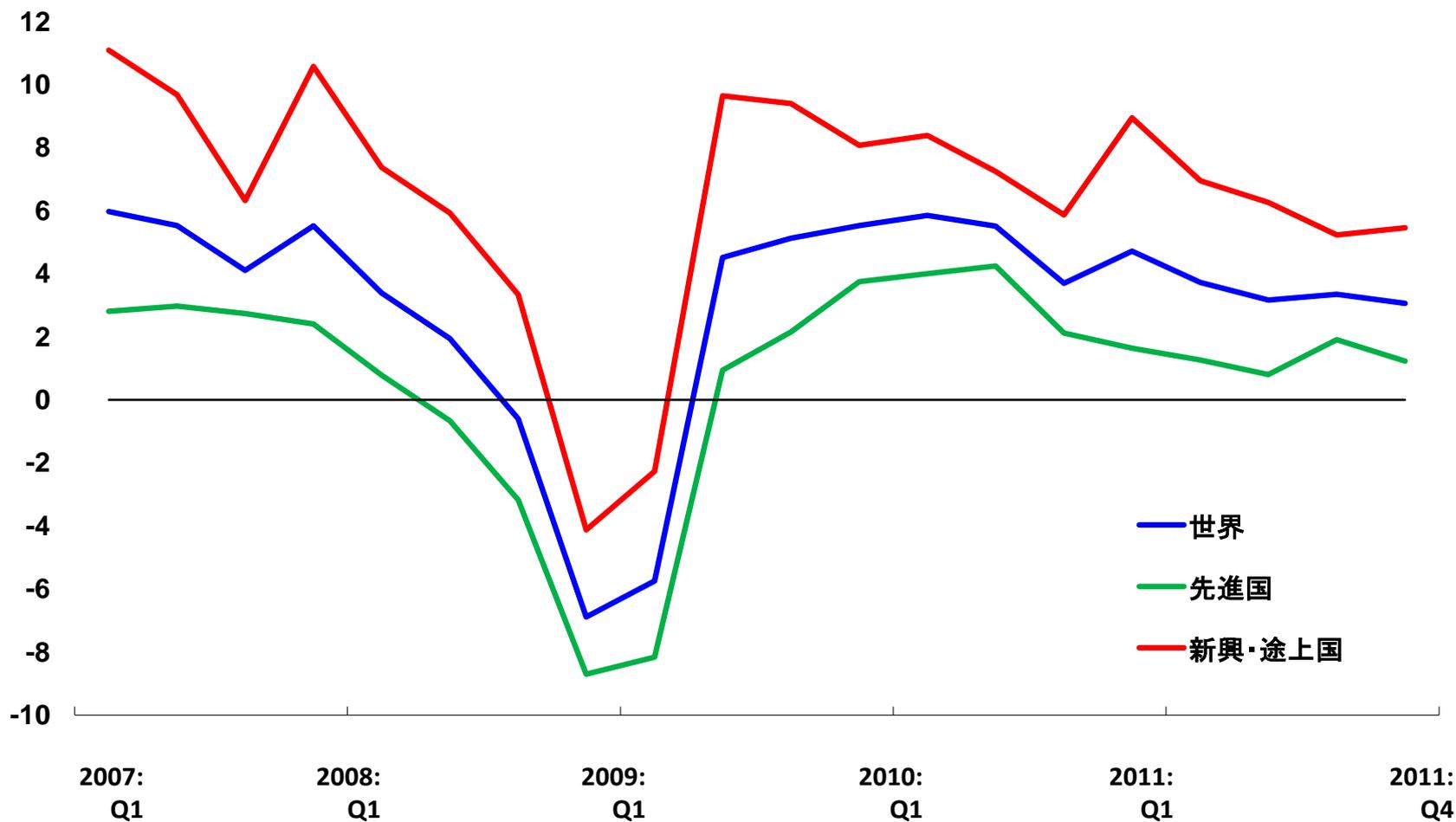
2012年5月



次第に回復する 世界経済

2011年末世界経済は減速

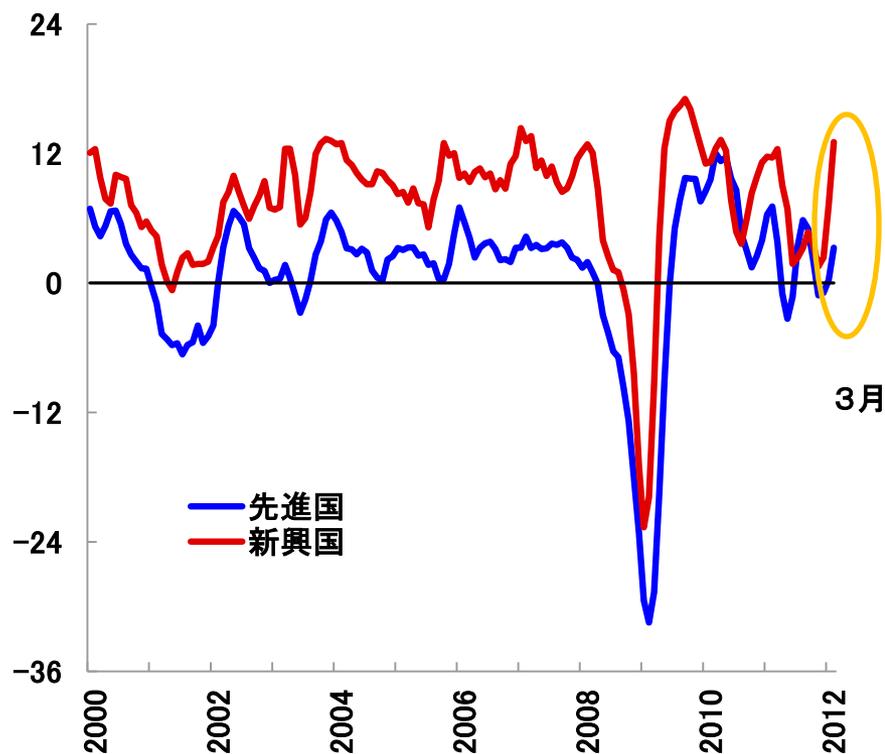
世界の経済成長
(対前四半期比、年率パーセント)



2012年に入り次第に回復に向かう

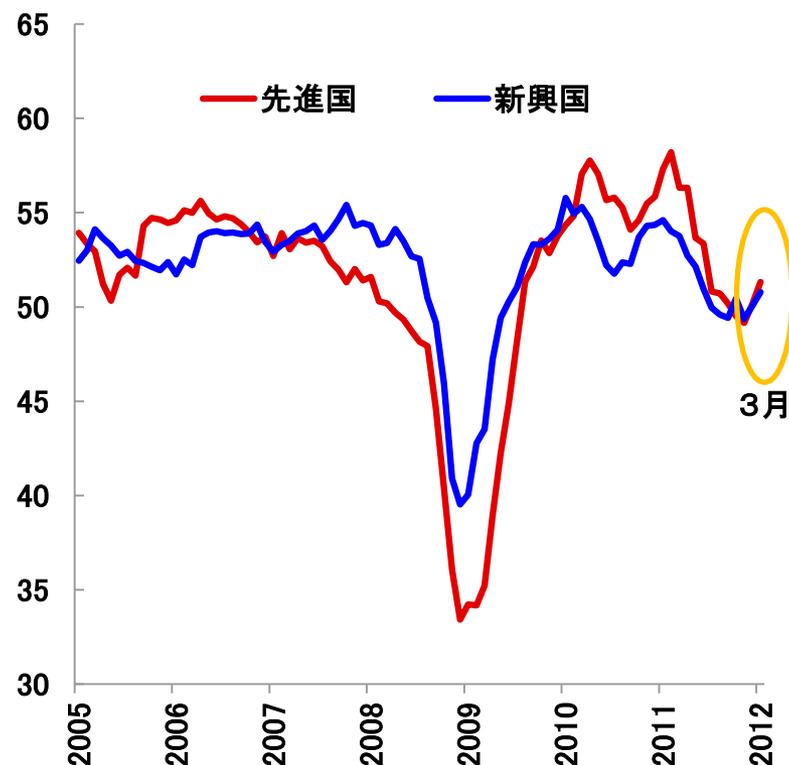
世界の工業生産

(季節調整済み3ヶ月移動平均変動率、パーセント)



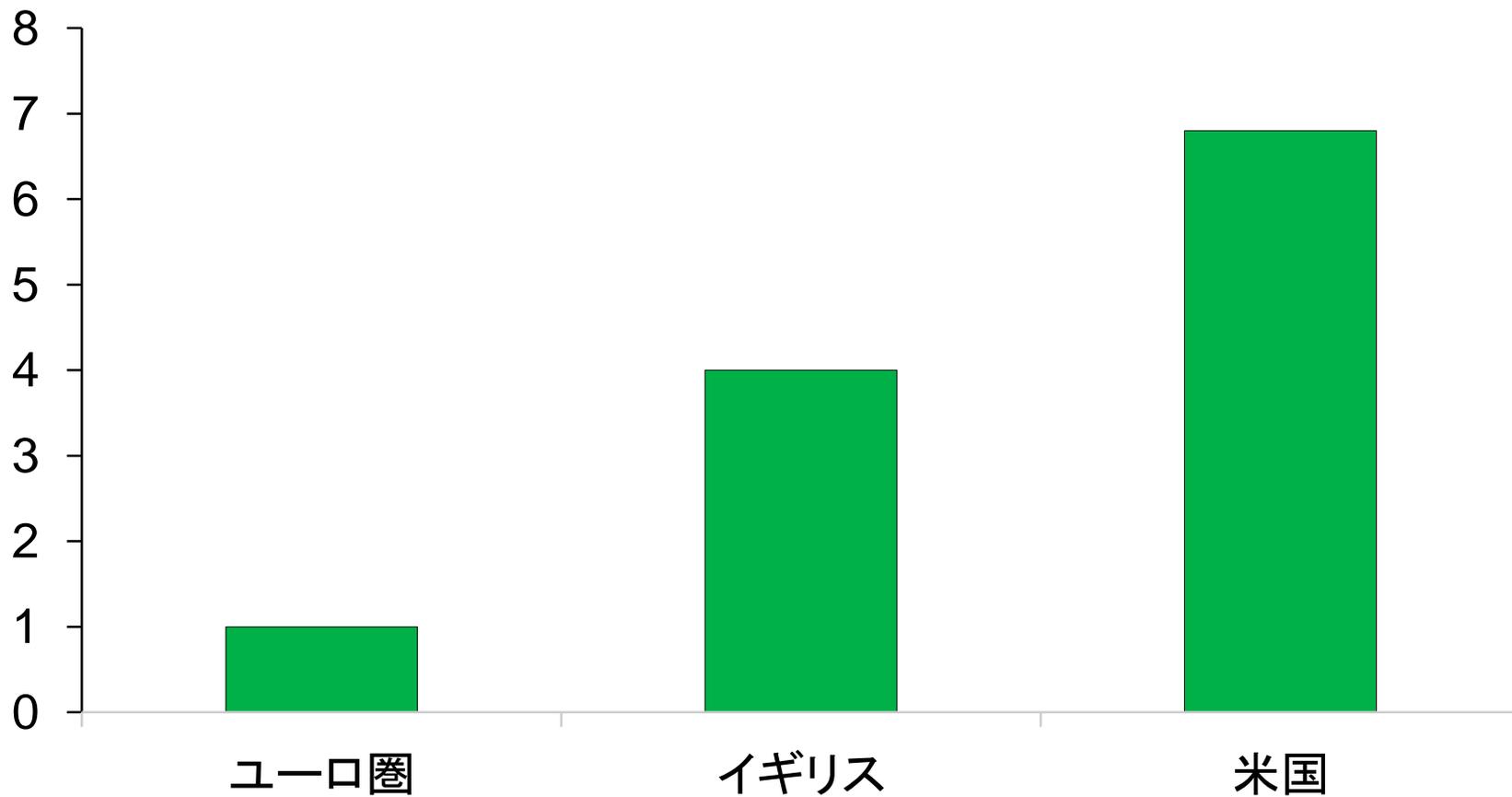
世界の製造業購買担当者指数 (PMI)

(季節調整済み指数; >50=拡大)



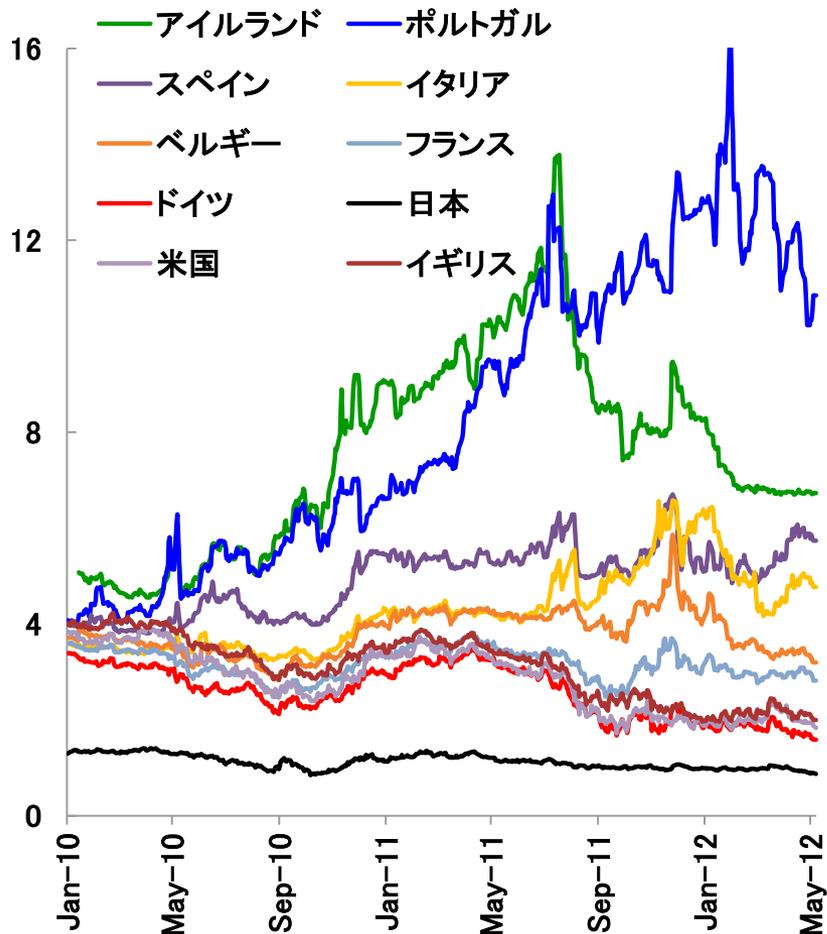
先進国の消費者マインドが改善

2012年1-3月の消費者信頼感指数変動 (パーセント)

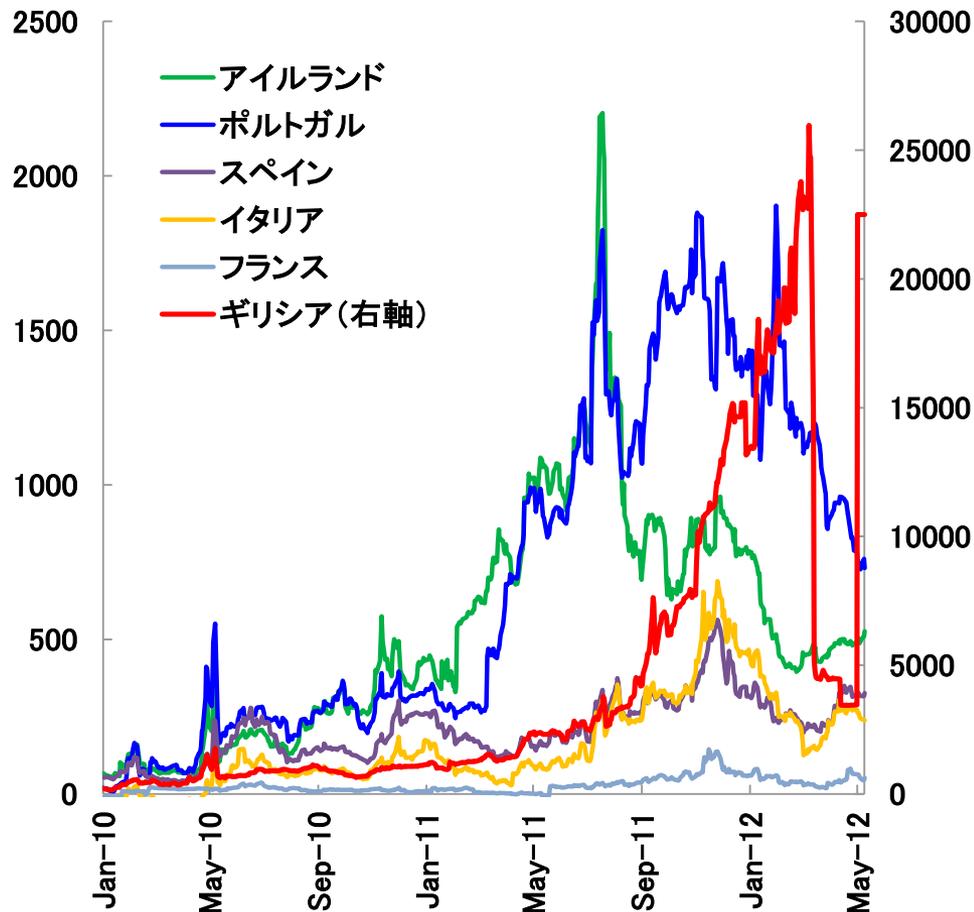


先進国の資金調達の改善

長期金利
(パーセント)



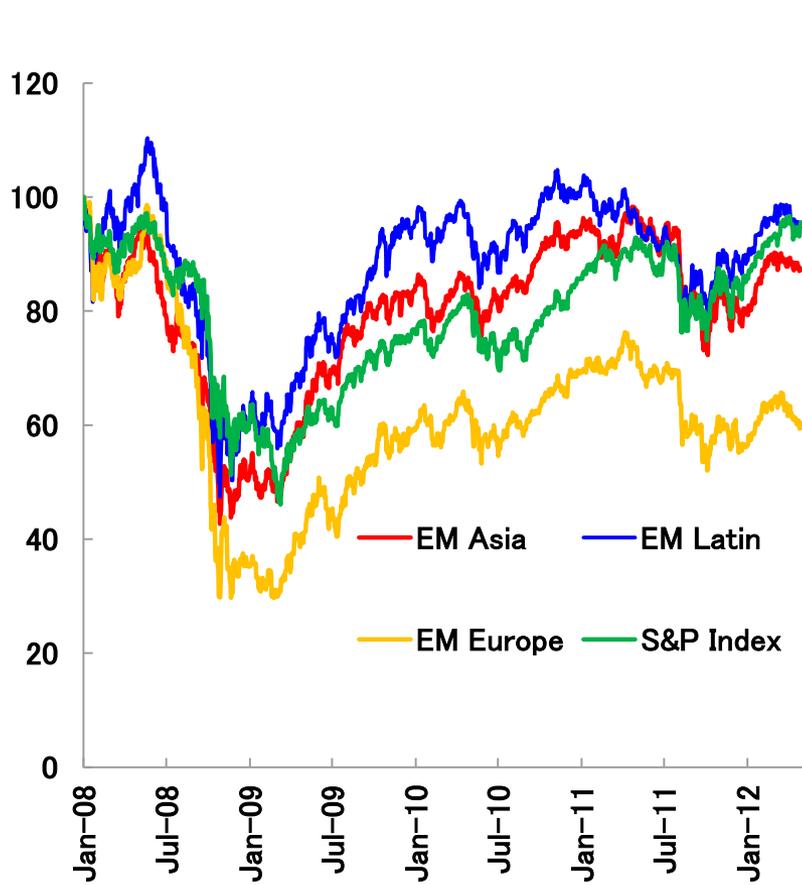
国債の спреッド
(二年物、対ドイツ国債比、ベーススポイント)



株式市場は回復し、 投資家のリスク回避度も低下

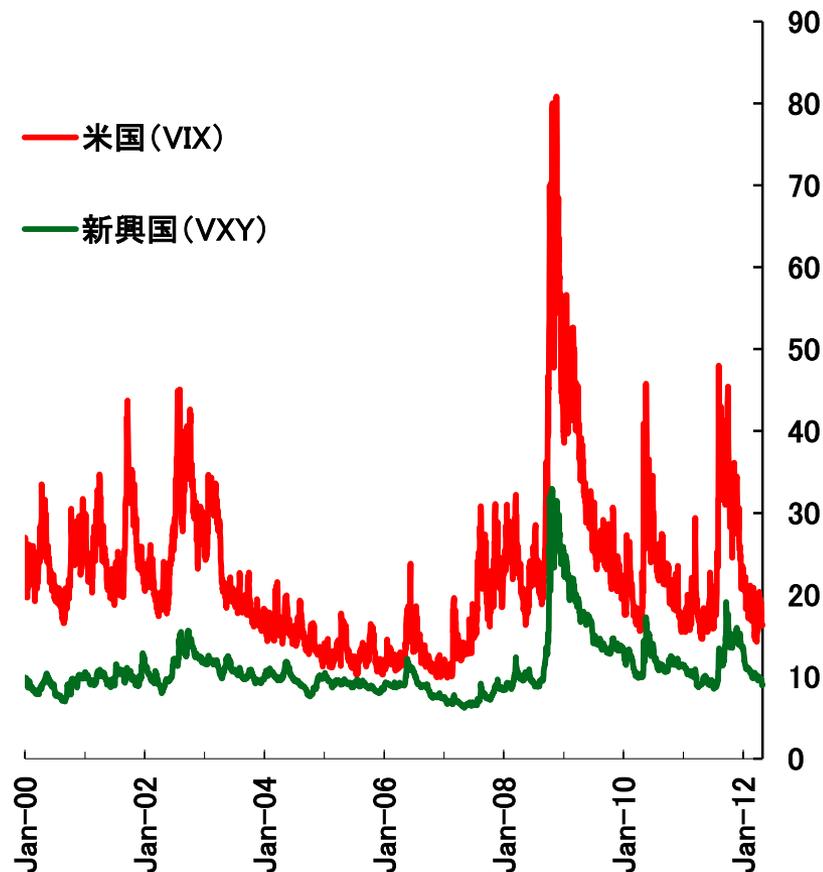
株式市場

(インデックス; 2007=100; 各国通貨)



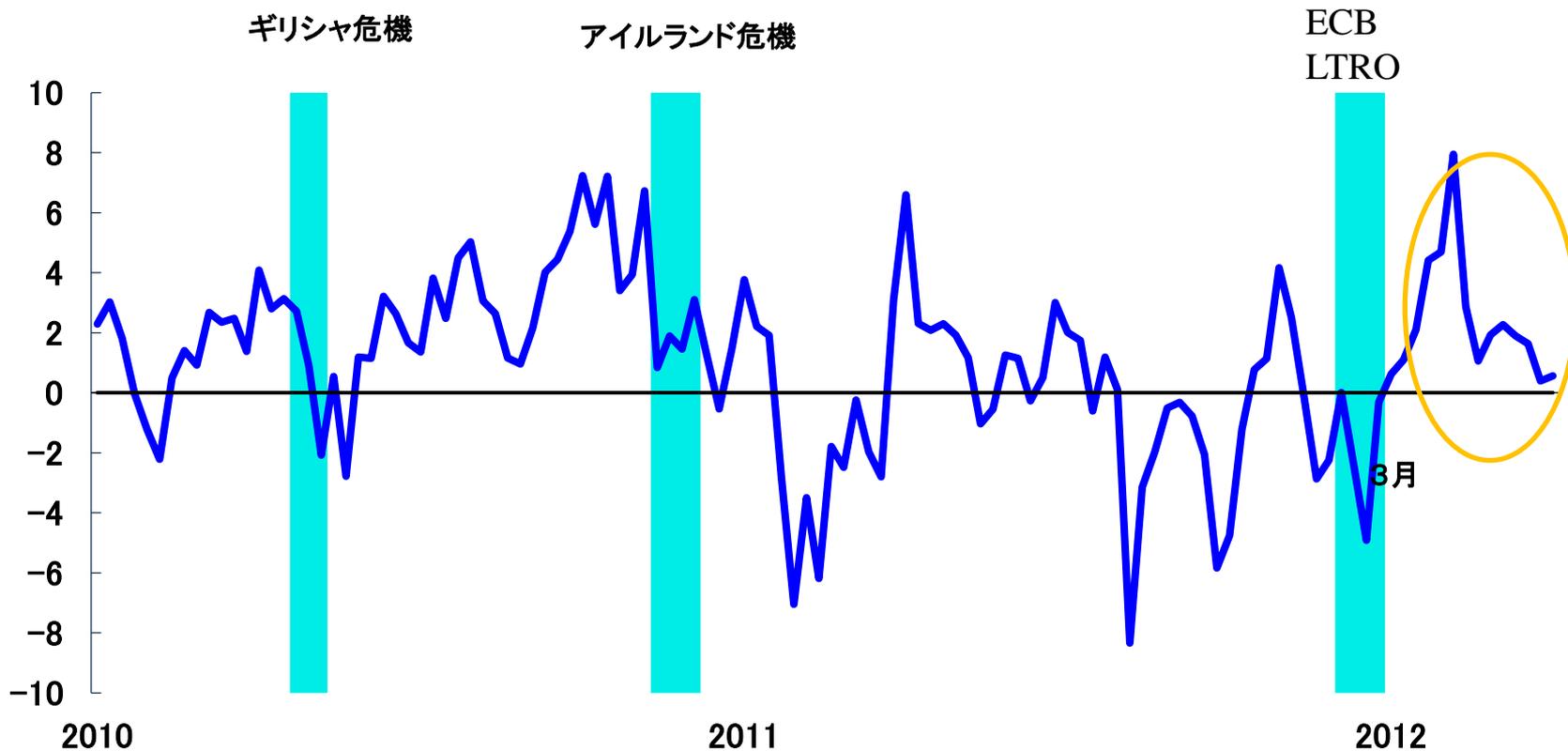
リスク回避度

(パーセント)



新興・途上国への資本流入が回復

新興・途上国への資本流入
(10億米ドル; 週間)



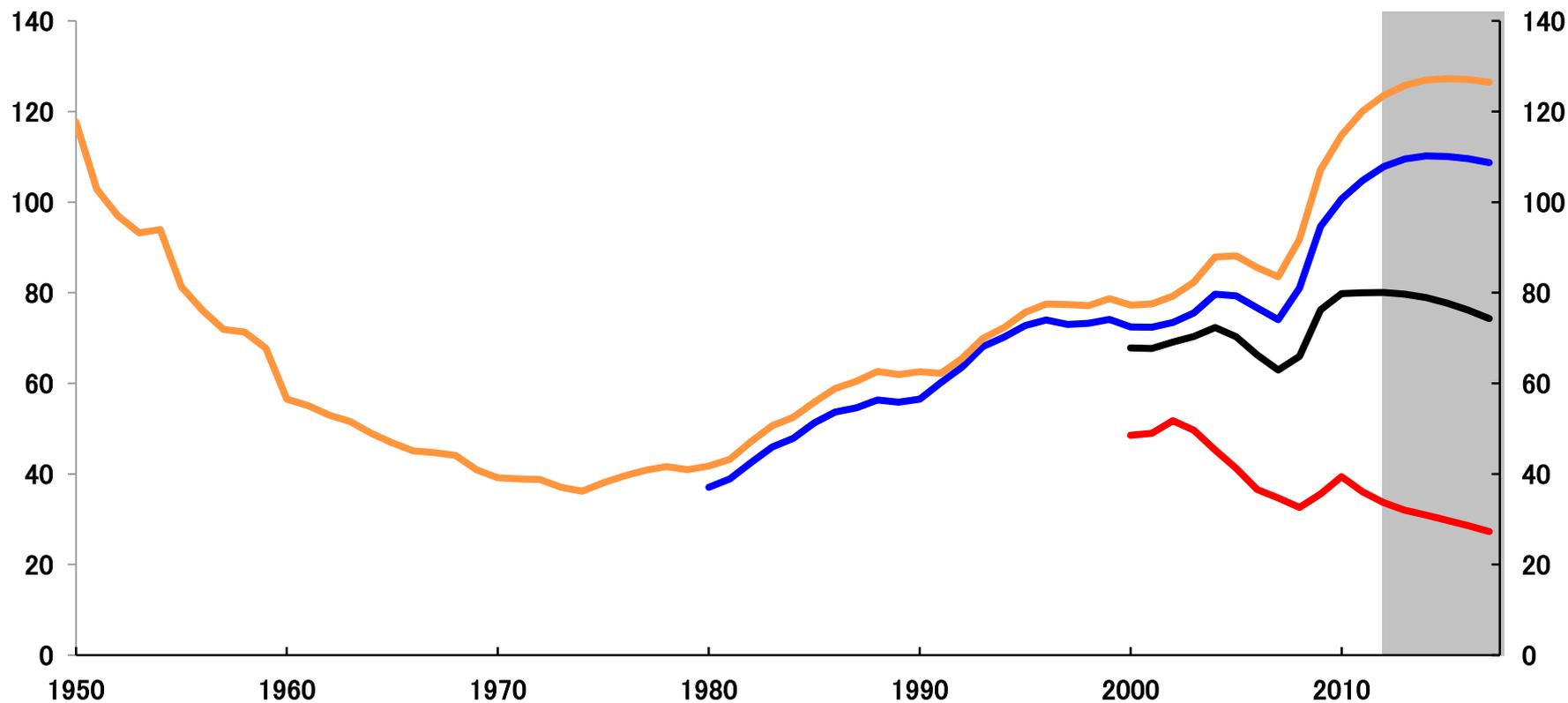


世界経済の回復は 依然として不安定： 懸念材料

先進国の高い公的債務

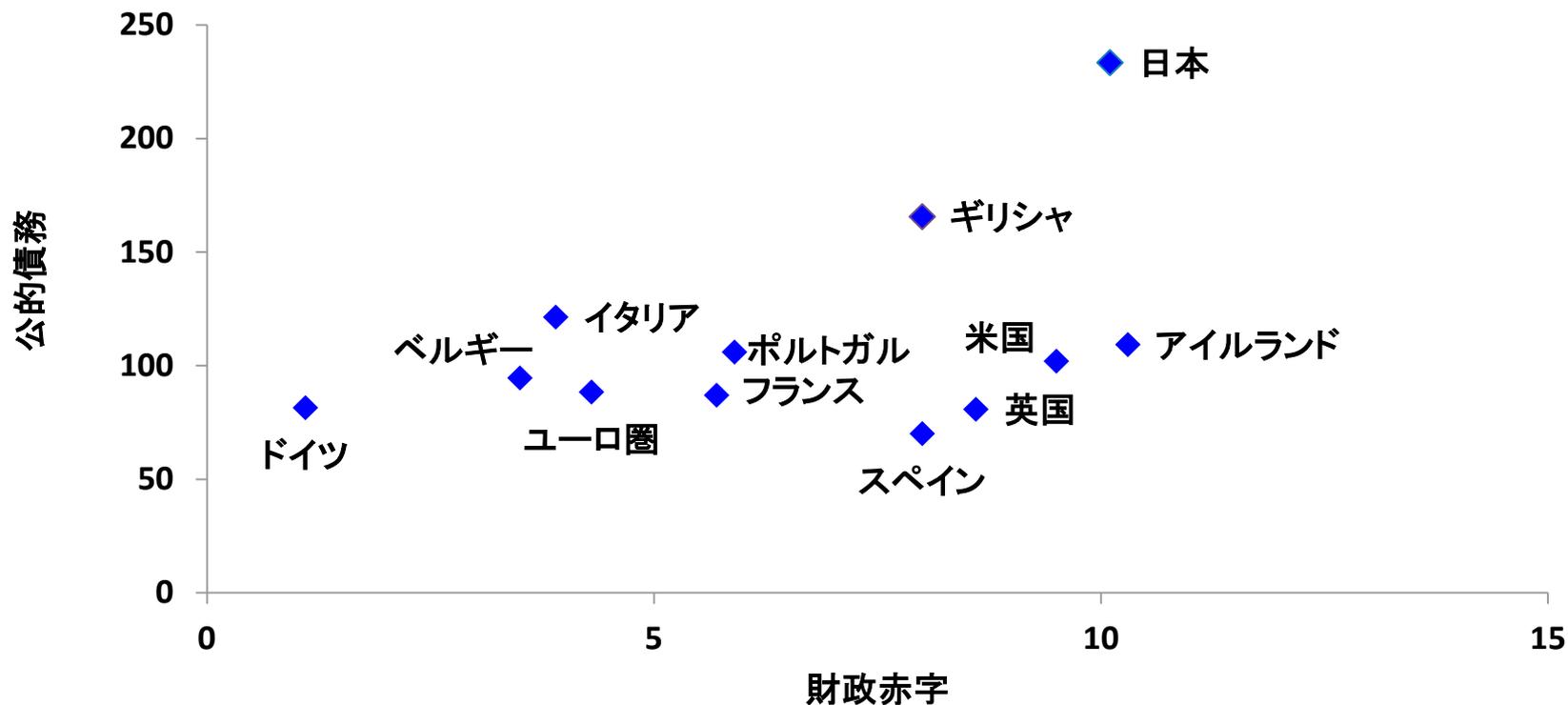
公的債務 (対GDP比、パーセント)

— 先進国 — 新興・途上国 — 全世界 — G7

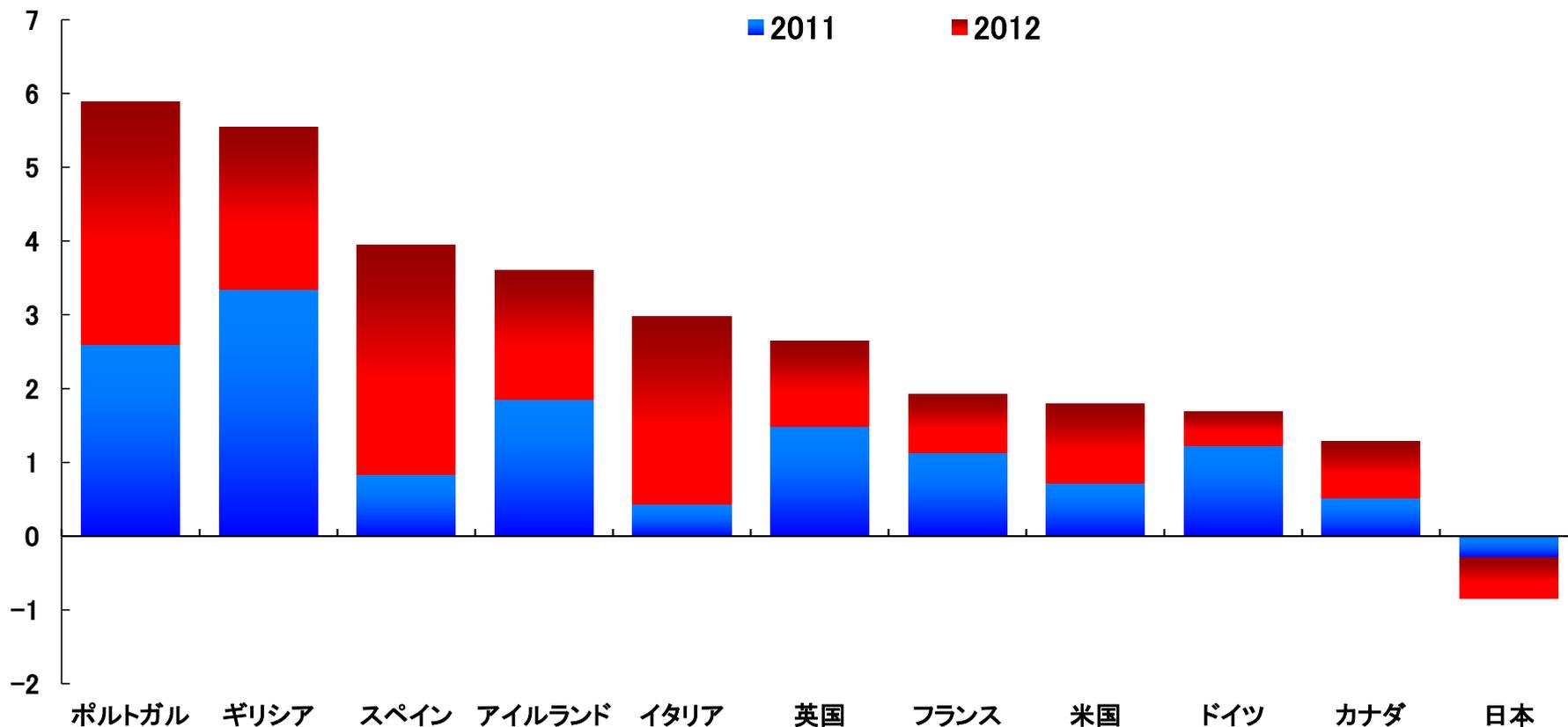


深刻なユーロ圏諸国の公的債務・財政赤字

財政赤字・公的債務残高
(2011年対GDP比、パーセント)



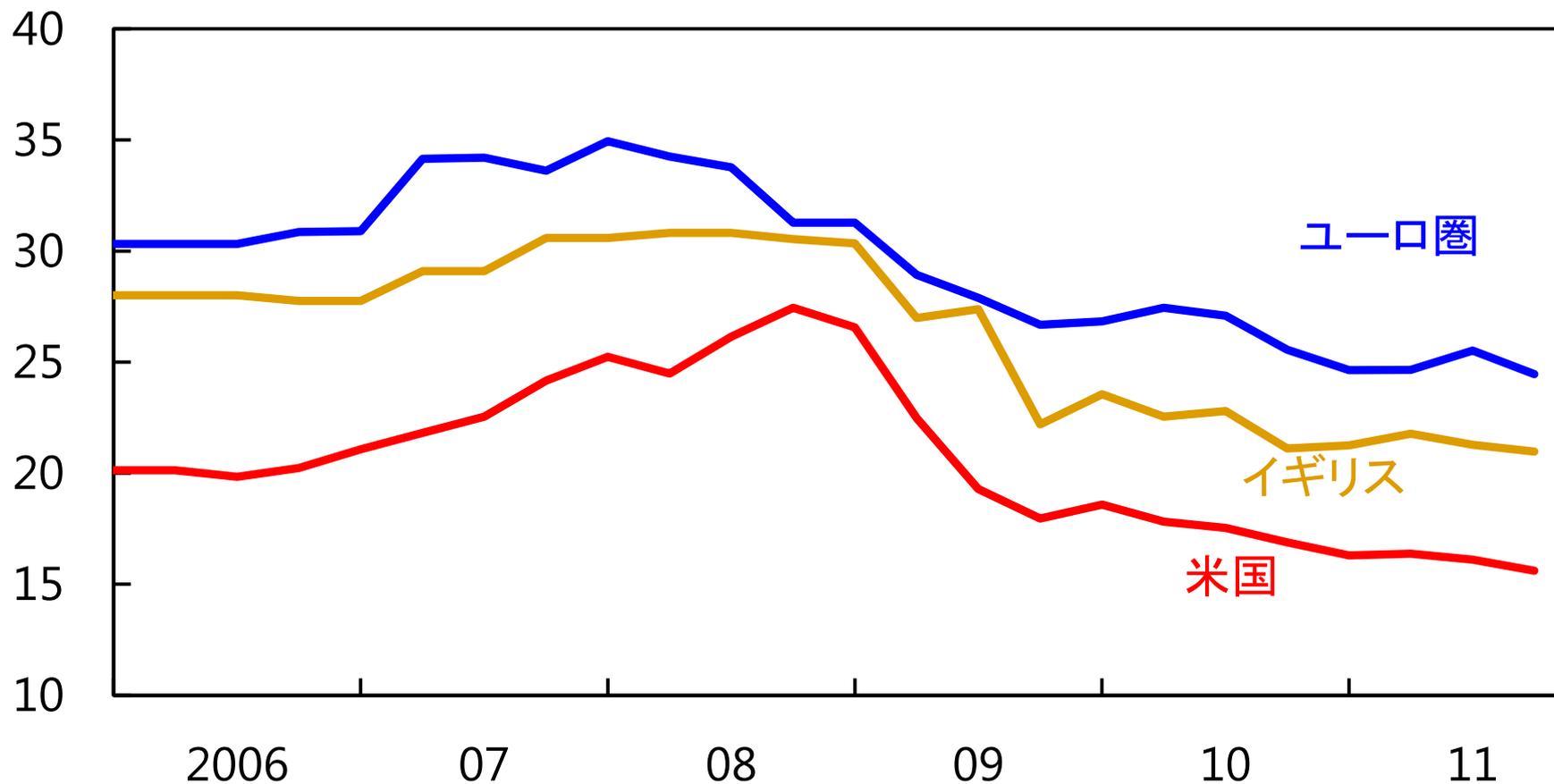
構造的財政収支の変化 (対潜在GDP比、パーセンテージポイント)



銀行のレバレッジ解消

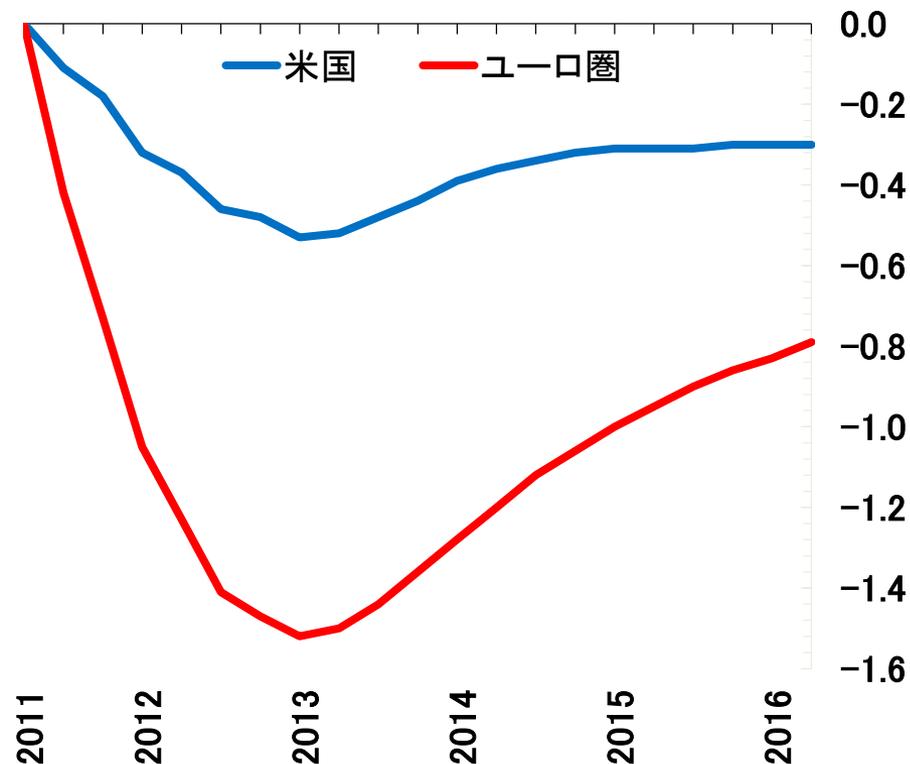
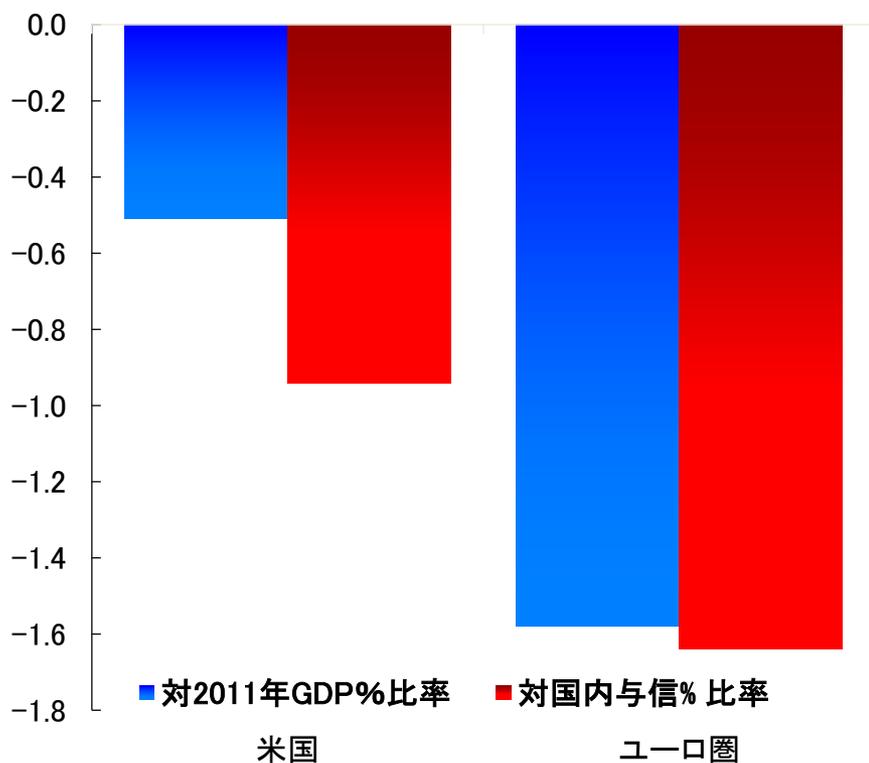
銀行資産

(対中核的自己資本比率、パーセント)



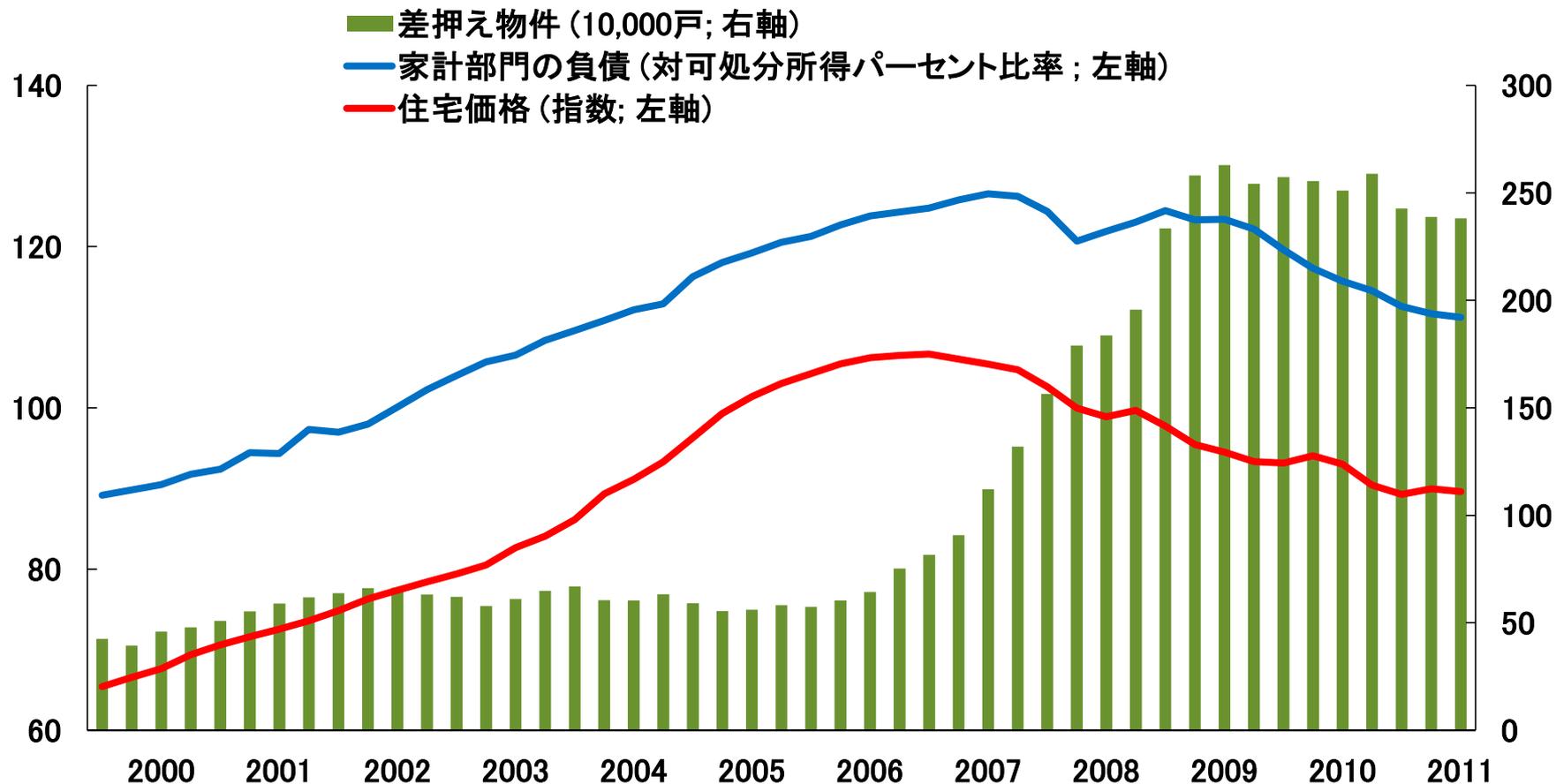
銀行貸出しの予想、2012-13年

レバレッジ解消の生産活動への影響 (資産圧縮がない場合との乖離幅、%)



米国の脆弱な家計部門

米国: 家計部門のレバレッジ解消





世界経済の見通し 2012－13年

世界経済成長見通しは若干改善するが

実質GDP成長率の見通し: ベースライン (前年比、パーセント)



世界



米国



ユーロ圏



日本



中国



インド

アジア
途上国

ラ米
カリブ海
諸国

2012
(2012年4月
見通し)

3.5

2.1

-0.3

2.0

8.2

6.9

7.3

3.7

2012
(2012年1月
見通し)

3.3

1.8

-0.5

1.7

8.2

7.0

7.3

3.6

2013
(2012年4月
見通し)

4.1

2.4

0.9

1.7

8.8

7.3

7.9

4.1

2013
(2012年1月
見通し)

3.9

2.2

0.8

1.6

8.8

7.3

7.8

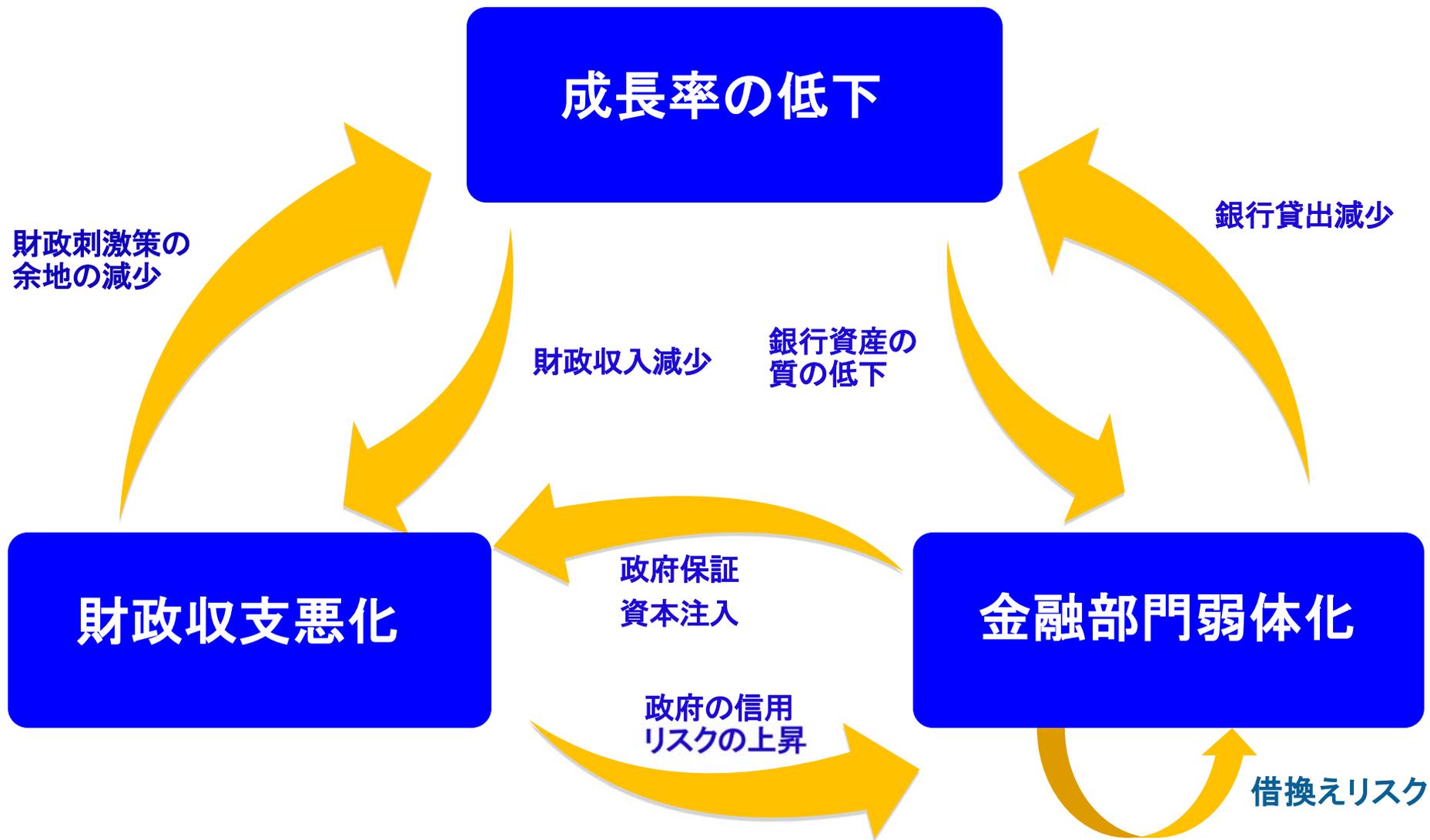
3.9

下振れリスク

ユーロ危機の再燃

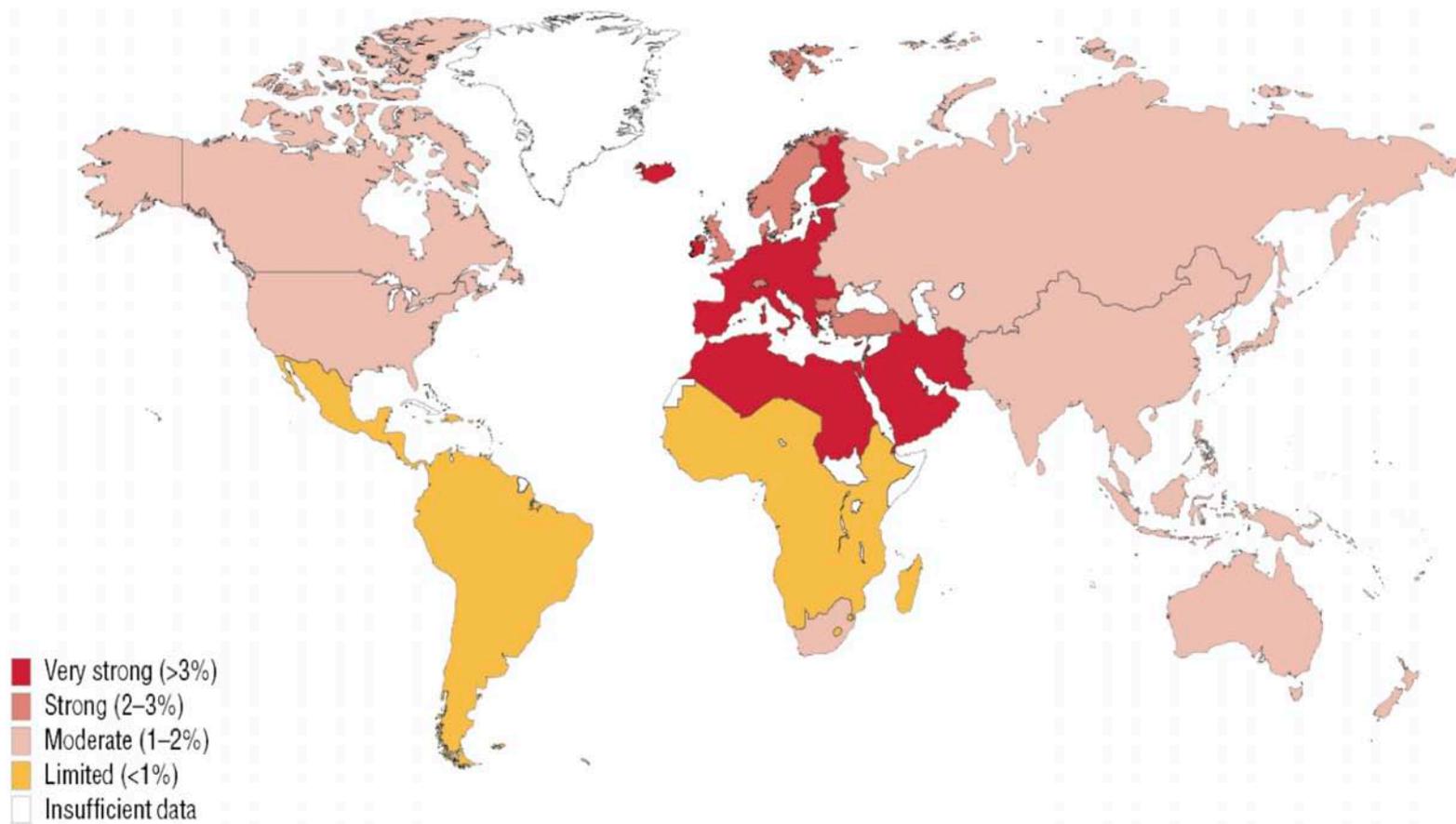
原油価格の高騰

ユーロ圏：景気、財政、金融の悪循環



ユーロ圏危機再燃の影響

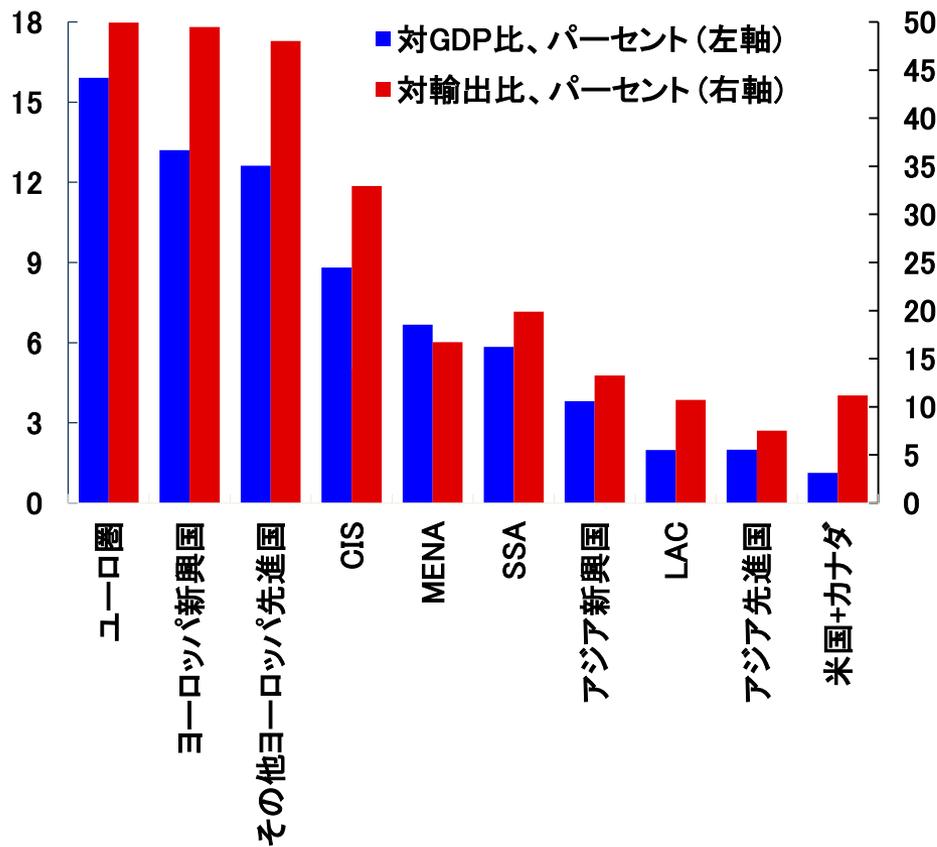
WEOベースライン成長率からの最大乖離幅



ユーロ圏危機の影響:2つのチャンネル

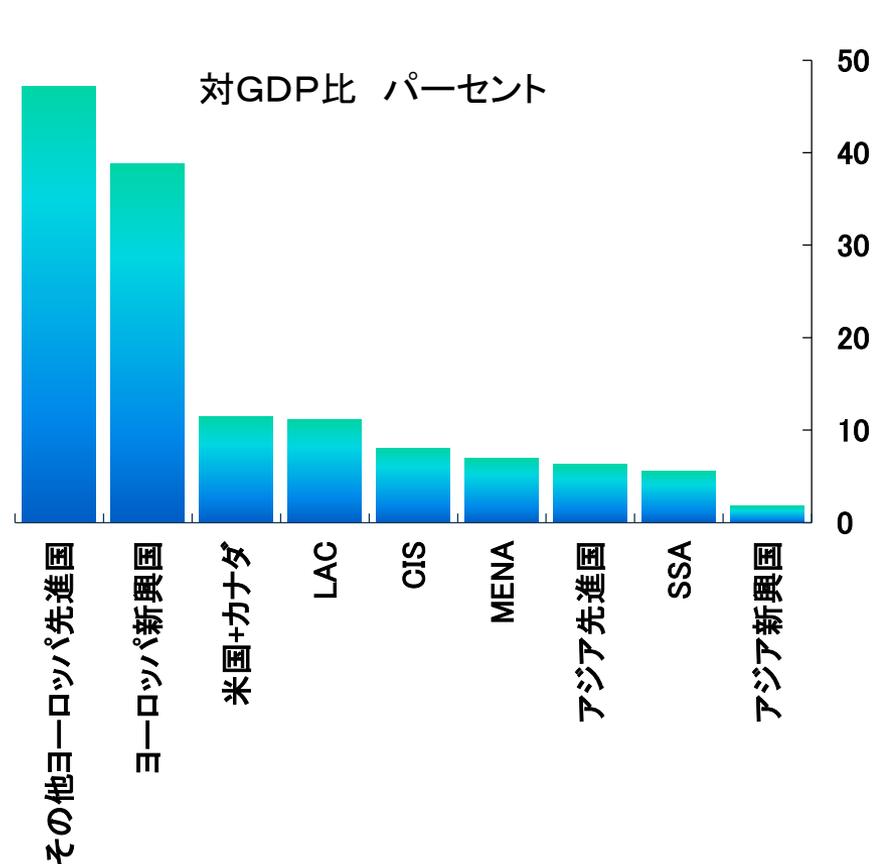
貿易面での影響

(ユーロ圏への財輸出依存度、2010年)



金融面での影響

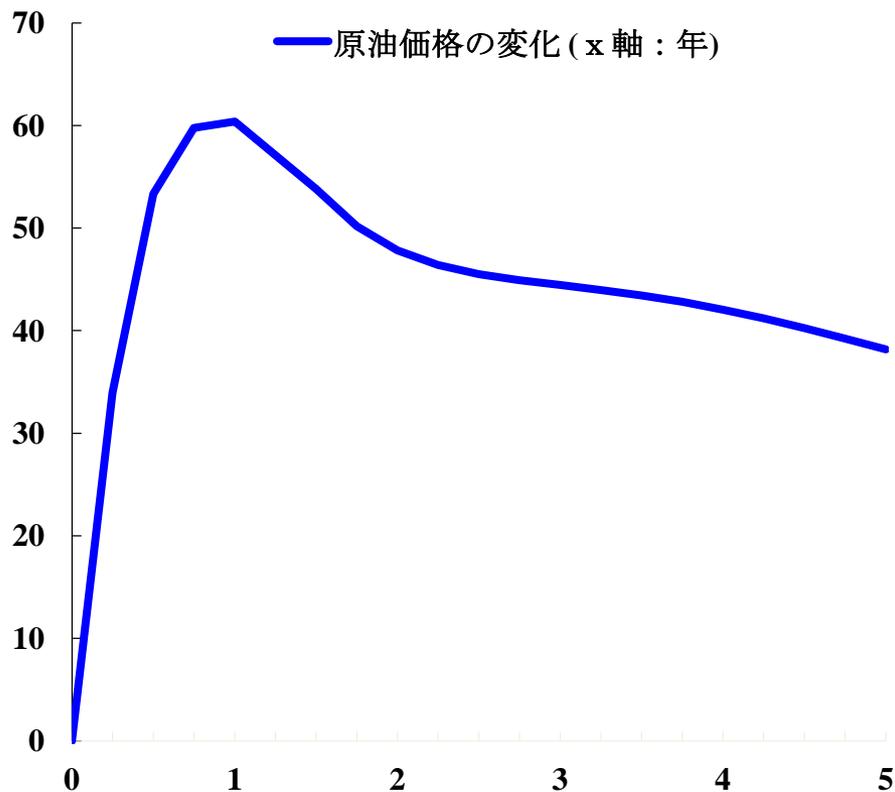
(ユーロ圏の銀行債権、2011年9月)



原油価格高騰の影響

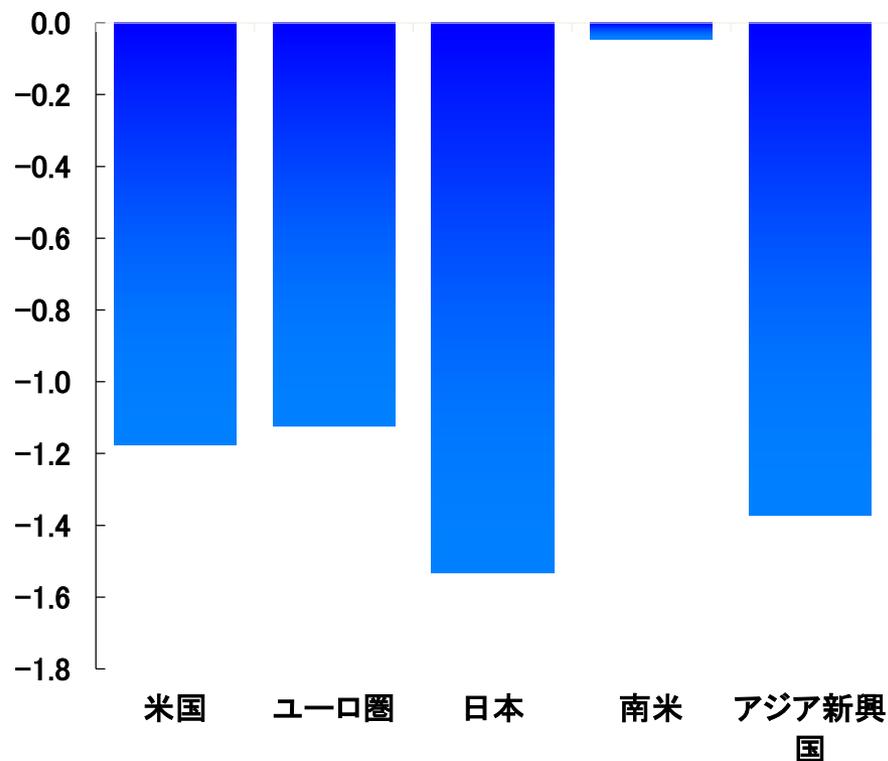
原油価格の高騰シナリオ

(WEOベースラインからの乖離幅、%)



2年後のGDPの損失

(ベースラインからの乖離幅、パーセンテージポイント)





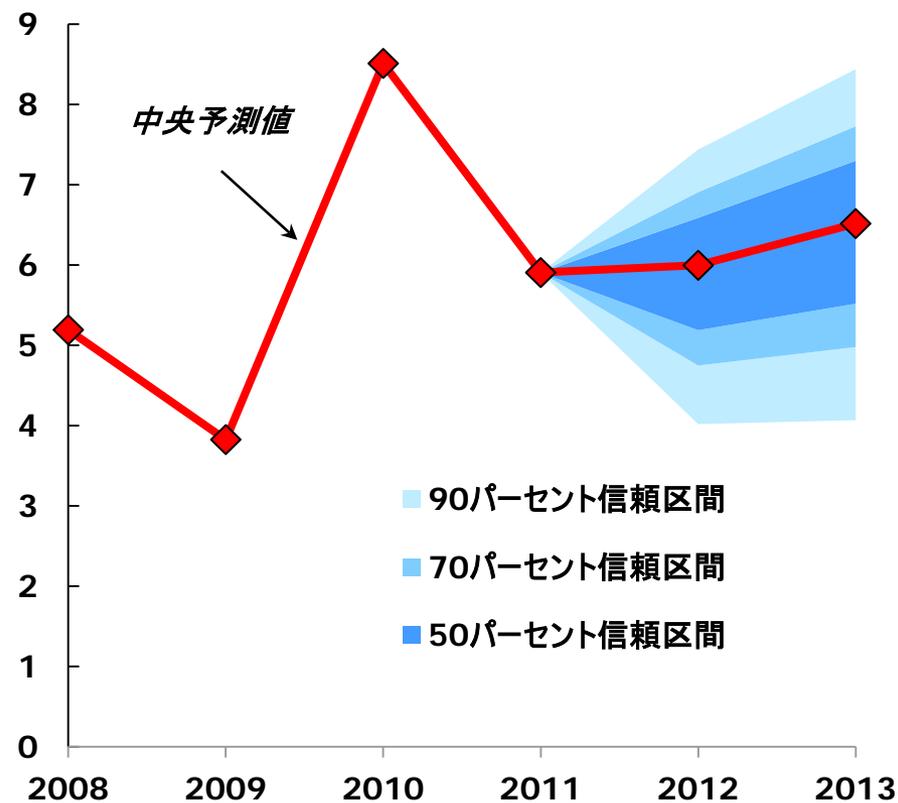
アジア経済の見通し 2012－13年

2012年後半から成長が盛り上がるが、不確実性が高い

アジア: 実質GDP成長率
(前年比、パーセント)

	2011	2012	2013
アジア	5.9	6.0	6.5
アジア先進国	-0.2	2.2	2.0
日本	-0.7	2.0	1.7
東アジア	8.2	7.3	8.0
中国	9.2	8.2	8.8
韓国	3.6	3.5	4.0
南アジア	7.1	6.8	7.2
インド	7.1	6.9	7.3
ASEAN	4.6	5.2	6.0
インドネシア	6.5	6.1	6.6
マレーシア	5.1	4.4	4.7
フィリピン	3.7	4.2	4.7
シンガポール	4.9	2.7	3.9
タイ	0.1	5.5	7.5
ベトナム	5.9	5.6	6.3

アジア: 実質GDP成長率
(パーセント)



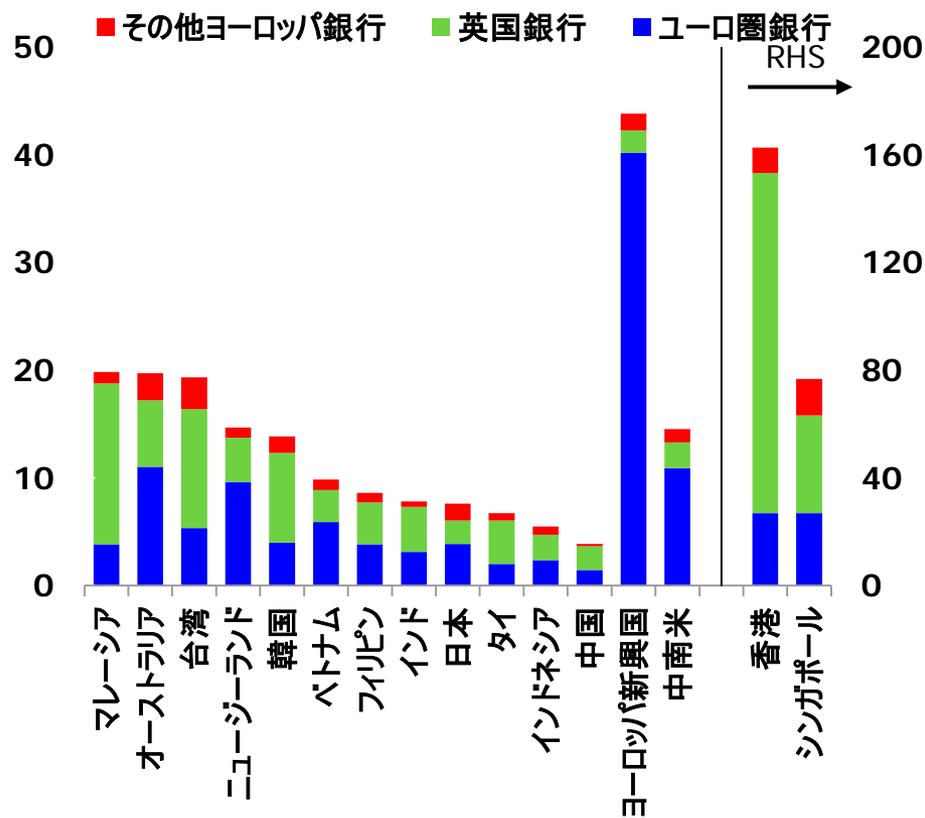
アジアの不安定要因

ユーロ危機の再燃

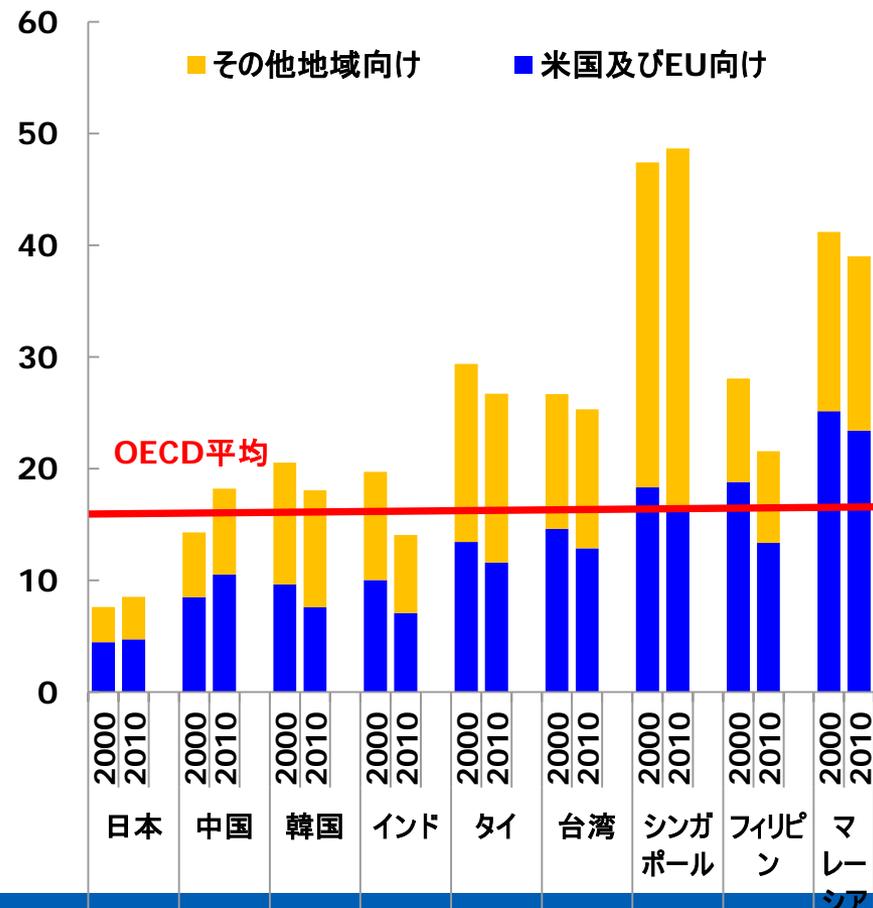
オイルショック

ユーロ危機のアジアへの影響： 貿易・金融チャンネル

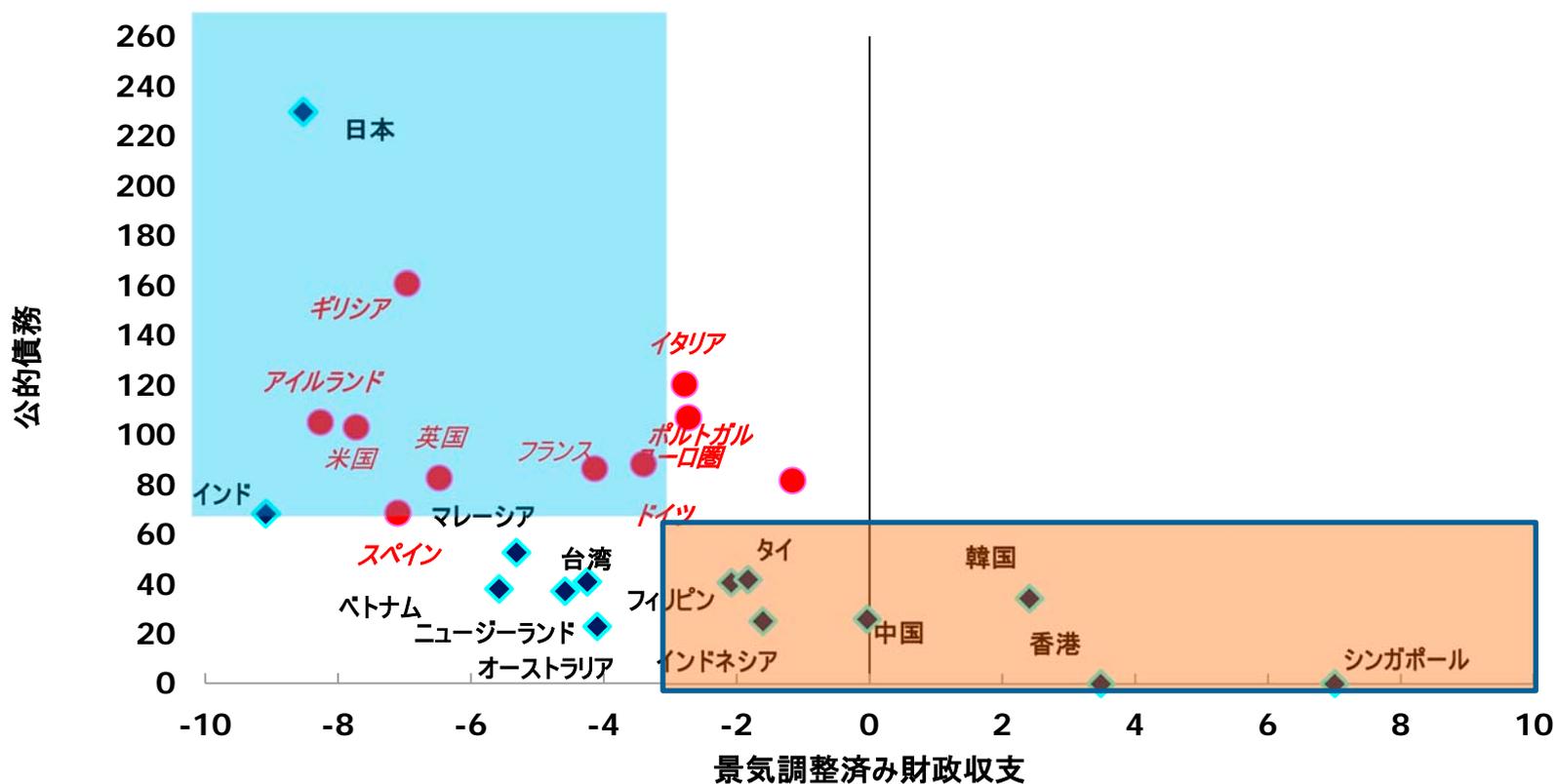
ヨーロッパ銀行のアジアに対する債権
(対GDP比、パーセント; 2011年第3四半期)



目的地別輸出額
(対GDP比、パーセント)



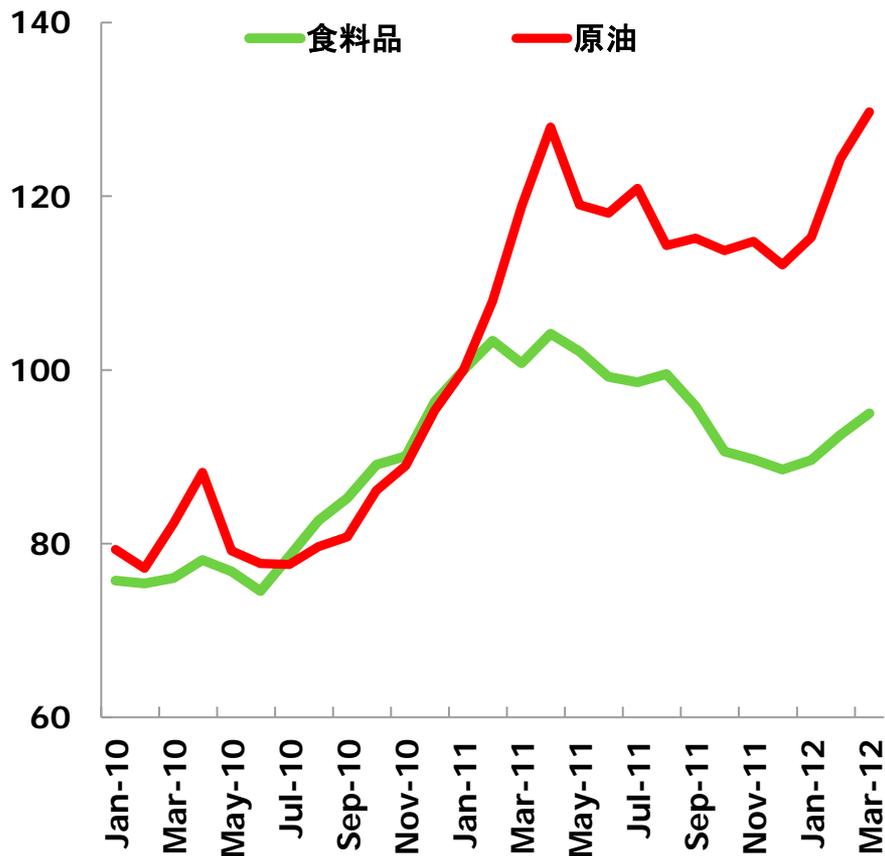
景気調整済み財政収支と公的債務比率、2011年 (対GDP比、パーセント)



商品価格上昇はインフレ圧力を高める

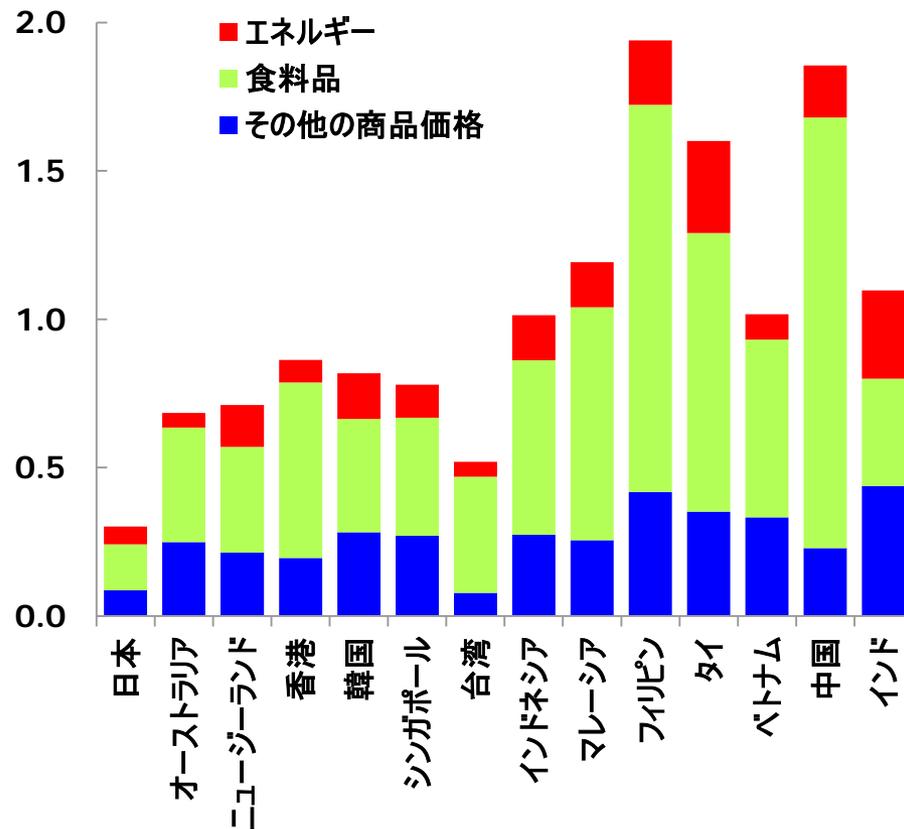
商品価格: 食料品及び燃料

(インデックス, 2011年1月=100)



商品価格が10%上昇した場合の影響

(パーセンテージポイント)





成長維持のための 今後の政策課題

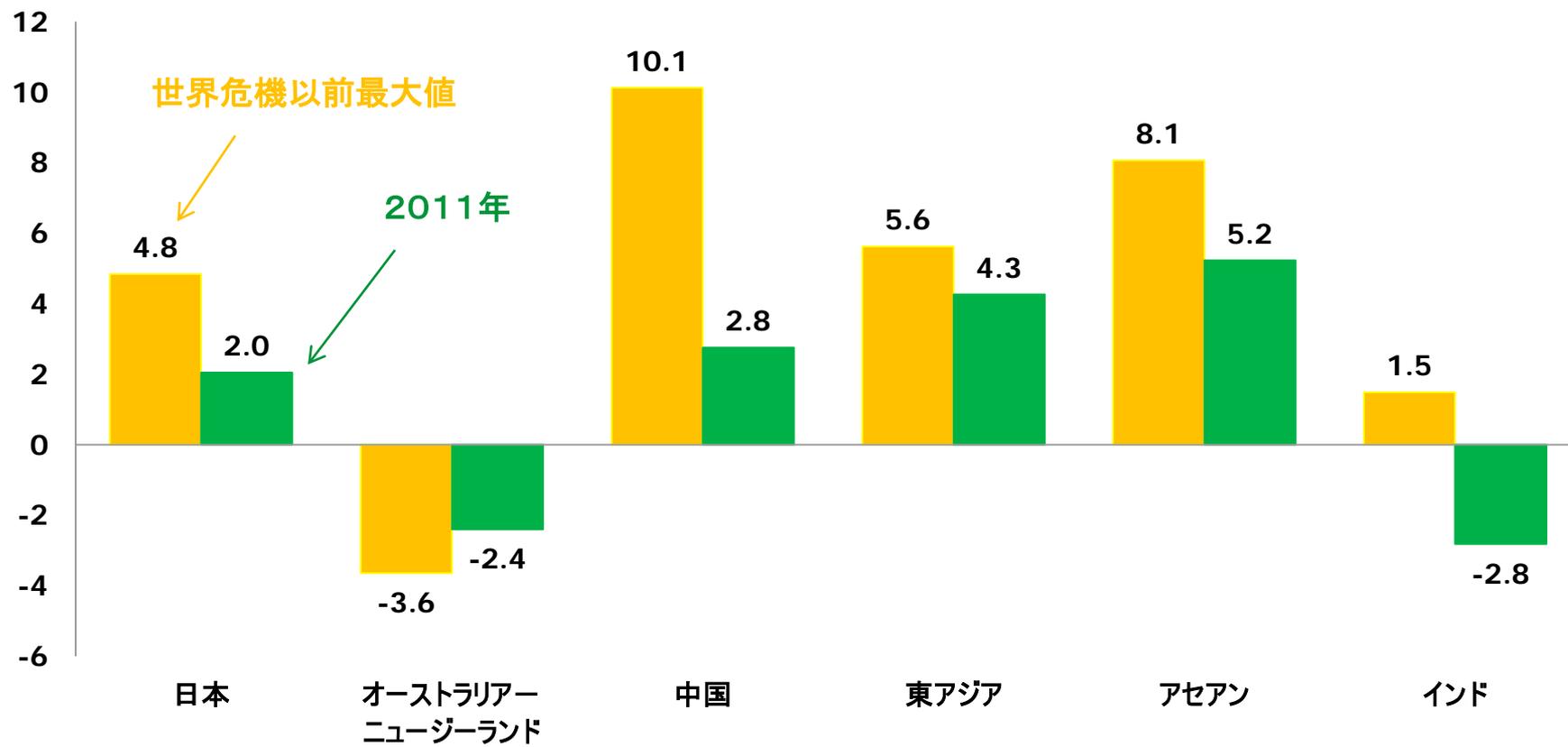
- 適切な財政再建
- 金融緩和の維持
- 構造改革：長期的な生産性向上と雇用改善

ユーロ圏

- 通貨同盟の強化：財政に関するルールの改善
- 銀行システムの強化

- マクロ経済政策出動余地の確保
- プルーデンシャル政策及び枠組みの強化
- 包括的な成長の推進
- 経常黒字国：より柔軟な為替レート

対外経常収支 (対GDP比、パーセント)

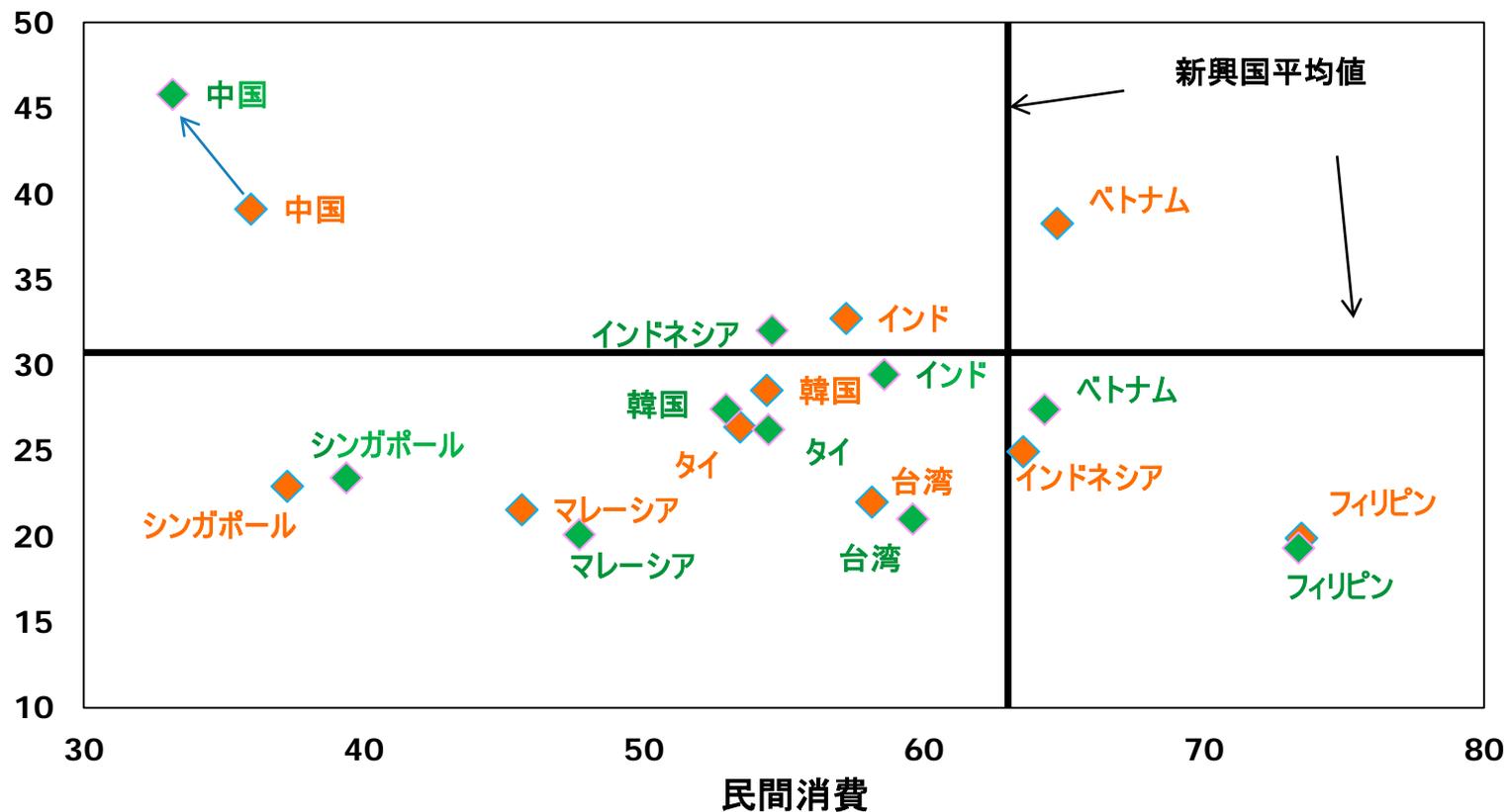


アジア:成長持続には再調整継続が不可欠

民間消費・投資 (対GDP比、パーセント)

◆ 2007 ◆ 2011

民間投資固定資本形成





END